

藍と青 宮古島YEG

結束力が強い少数精鋭で 四つの事業をやり遂げる 実績のある青年部が 積極果敢に挑戦し続けるワケ

今年度のYEGフラッシュは、商工会議所（親会）とYEGの良好な関係をご紹介します。タイトルの「藍と青」は、淡沢栄一翁の生家の家業が藍農家であったことから、藍を親、青をYEGとし、一般的にいわれる師弟のことでなく、「君子曰く、学は以て日（や）むべからず（学問は中断してはいけない。努力すればするほど精進されて優れたものになる）」という本来の意味に立って取材します。

美しい海に囲まれ、島全体が平坦で低い台地をなしている宮古島。近年は、各種スポーツ大会やスポーツ団体の合宿なども行われ、「スポーツアイランド宮古島」として活気づく。その裏側には、島の発展のために郷土愛を育むべく、宮古島の魅力を発信し続けようと奮闘する宮古島商工会議所と、同所青年部が挑戦し続ける姿があった。

宮古島の人々の情熱が 根付かせたトライアスロン

今年で38回目の開催となった「全日本トライアスロン宮古島大会」の



国内外のストロングマンが目指すトライアスロンゴール地点の宮古島市陸上競技場

歴史は1985年にさかのぼる。以前、高校駅伝の沖縄県大会が初の離島開催として宮古島で行われた際、視察に来ていた当時の琉球新報社長がその盛り上がりで感銘を受けてトライアスロンを誘致することになった。初回の参加者は現在の5分の1、300人にも満たなかったが、当時はそれだけの人数を収容できるホテルがなく、ほとんどが民泊を利用したのだという。第1回はNHKが全国生中継し、当時の宮古島有線テレビ（現在の宮古テレビ）が長時間放映した。これが宮古島にトライアスロンが根付いていく瞬間だった。

YEG出身の会頭だから分かる コミュニケーションの大切さ

宮古島YEGには地域と共に進めている大切な事業が四つある。「全日本トライアスロン宮古島大会」「宮古島夏まつり」「KAZAJETS I Enjoy耐久in宮古島」「劇団四季ファミリーミュージカル宮古島公演」だ。

ジェットスキー大会の運営サポート事業だ。夏まつりでは、子どもたちに人気の金魚すくいや、企業のちょうちんを飾るなど、まつりを盛り上げる事業に携わる。また、年度末の3月には、劇団四季のファミリーミュージカルを毎年宮古島に招いて開催している。地域の子どもたちに、普段はなかなか見る機会のない劇団四季の劇場公演を見て、夢や希望を持つってもらうことを狙いとしている。

環境を、親会全体で引く張るといいうのが良好な関係性を築いている大きな要因だという。実際、共同で動く事業が多いことから、「準備、実行、懇親会までほぼ一緒なので、みんな顔なじみ。連絡事項だけだったのが世間話もするようになる。懇親会の場でふざけて『おまえらちよっとこっちに来い』と、コミュニケーションを取ることが多い」と根路銘会頭はにこやかに語り、垣花会長も大きくうなずいた。

2年後に控える一大事業に向け 止まらない挑戦

宮古島YEGは昨年、長く尽力してきたメンバーが9人卒業し、今年度は42人でのスタートとなった。2年後の2026年度全国リーダーズ研修会の開催地に決定したこともあり、垣花会長は「会員拡大と組織力の活

性を念頭に置いて活動している」と言う。22年度に九州ブロック大会を実施した際にはメンバー数が60人程度と過去一番の人数だったことから、それを超えられるように努力したいと語る。

また、YEGの4本の柱となる事業を、親会や地域と共に活動してきた実績があることから、「宮古島YEGはメンバー数は少ないが結束力が強い。一昨年に主管した九州ブロック大会もそうだったが、大きな事業をしっかりと一枚岩になってやり遂げる自負はある」と語る垣花会長の目は鋭い。

「今までの経験を生かし、地域全体のことを考えて活動し続けることは、これからも一貫して変わらない。今後必要とされる単会を目指すという基本精神は、親会とYEGで一致している」と垣花会長は今後の方針を語った。これに対して、根路銘会頭は「Y



ジェットスキー大会はサラサラの砂が気持ち良い東洋一の与那覇前浜ビーチで開催



「ワイドー!!」と宮古方言で声援を送る島の人たち



親会三役、専務と垣花会長（前列右）はこれからも宮古島の魅力を発信し続ける

編集後記

瀧口力（常滑YEG）

新一万円札の顔となった淡沢栄一翁の言葉に「自ら箸を取れ」があります。私がこの言葉から思い浮かべたのは、長瀬剛の楽曲「Captain of the Ship」です。「困難な状況においても、主体性、挑戦精神、責任感を持って、自らの力で未来を切り開け」という共通のメッセージが込められています。先日、われわれ広報☆ブランディング委員会は、全国の青年経済人に淡沢翁の教えや考え方を紹介する動画「知るべきは、淡沢栄一翁だった！青年経済人よ、自ら箸を取れ！」を公開しました。



宮古島商工会議所 会頭 根路銘康文 会員数 1766人 創立 1975年 住所 沖縄県宮古島市平良字西里240-2 基本理念 「未来永劫発展しつづける 地域経済の実現」 宮古島YEG 会長 垣花晋 会員数 42人 創立 1979年 創設 スローガン 「絆 想をひとつに Let's Enjoy YEG!!」

EGにはかっこよくやっていると。今もかっこよくやっていると。思っていると期待を示した。「かっこいい親会の背中を見て頑張ります」と、垣花会長は積極果敢に挑戦し続ける意志を見せた。



毎年度末に宮古島の子どもたちのために招く劇団四季の団員を空港でお出迎え



スタッフが早朝に集合しアララガマ魂（不屈の精神）のガンパロウ三唱でトライアスロン事業の一日がスタート